

## 2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	幾地さんさんパーク整備事業					
事業の概要	当広場では野球等をして遊ぶ児童も多いが、バックネット等の設備がなくトイレの壁をフェンス代わりに利用しているような状態であったため、壁や窓ガラス等が破損することも多く、施設の整備が要望されていた。また夏祭り等のイベントも開催されるため、投球板を利用したステージ設備を併せて整備することにより、広場の充実と利便性の向上を図るものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	503	本年度事業費	503	交付金交付額	250
事業の必要性	子供達のスポーツを通じた健全育成並びに地域住民のコミュニティの増進、利用者の利便性の向上を図るものである。					
事業の有効性	施設の充実による利便性の向上はもちろんのこと、施設の破損防止や修繕料等経費の削減、更なる施設利用者の増加やコミュニティ活動の推進等、今後の事業展開の活性化等が期待でき、有効性 効率性の高い事業といえる。					
事業の効率性	上記に同じ					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 施設整備により利用者の利便性は向上しており、コミュニティ活動の更なる発展へ繋がるものと思料する。					
	3 リーディング・モデル成果 コミュニティ施設の有効活用を図っていく上で、他の類似施設のモデルとなりその成果は大きい。					
	4 広域的波及成果 当地域は新興住宅地内にコミュニティ施設を併設した当町のモデル住宅ゾーンと位置づけており、このようなモデルの今後の広がりに期待できる。					
	5 行財政改革に資する成果 施設の修繕等維持管理経費の節減に資する。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。